

日時：2025/6/25 19:00～21:00

会場：せたがやイーグレットホール集会室B

出席者：柿沼委員長、安藤委員、藤井委員、鈴木委員、田矢委員、菊池委員、
田島委員、河野委員、田中委員、向山委員

区管理職：砧総合支所保健福祉センター保健福祉課長

砧総合支所地域振興課長

保健福祉政策部保健福祉政策課長

高齢福祉部介護予防・地域支援課長

事務局：世田谷保健所副所長

世田谷保健所生活保健課長

世田谷保健所生活保健課生活保健担当

報告事項

1 ふるさと納税「せたがや動物とともにいきるまちプロジェクト」寄附金額について

令和6年度は4月1日より「ふるさと納税せたがや動物とともにいきるまちプロジェクト」を開始しており、令和6年度寄附金額は17,266,580円であった。令和6年度から各事業の補助金の2分の1にふるさと納税寄附金を活用している。

飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金実績は、令和6年度は3,145,300円であり令和5年度と比較して、オス・メス合計件数が2.5倍増加した。

新たな飼い主への引渡しが完了した飼い主のいない猫の不妊・去勢手術及び医療的処置費用補助金額実績は、令和6年度は421,000円であった。

人と動物との共生推進事業補助金実績は、令和6年度は202,218円であった。

【各委員からの意見】

・飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金実績が令和5年度と比較して令和6年度は増加している。これは令和6年度から、補助金額を増額した結果であり、成果が出ていることが喜ばしい。

2 令和6年度ふるさと納税寄附金活用事業について

せたがや動物とともにいきるまちづくり補助金（講習会・学習会補助）は、世田谷区内で人と動物とが共生することに関する講習会・学習会等の開催を補助する制度として、令和6年10月に1団体当たり上限150,000円で募集を開始した。その結果、町会1団体を含む6団体に補助金を交付した。詳細は下記の通りである。

団体名	補助金交付額	事業名称	活動内容	参加人数
一般社団法人 One for Wan・ 駒沢ドッグスト リートプロジェ クト	¥107,860	ペット防災～愛犬を 守る飼い主さん講座	犬の目線から考 える非常事態の ためのしつけ等 の講義と愛犬の 命を守る「ハウ ストレーニン グ」等の実習	44名
特定非営利活動 法人 みなしご救援隊 犬猫譲渡センタ ー	¥150,000	犬猫の終生飼養と適 正飼育に関する啓蒙 啓発活動と勉強会、 パネル展示会	犬猫の終生飼養 と適正飼育に関 する啓蒙啓発活 動と勉強会、パ ネル展示会	36名

船橋会	¥104,385	船橋地区の野良猫対策（地域ねこ活動）を考える集い	船橋地区における野良猫対策（地域ねこ活動）の普及啓発等	40名
ペット防災せたがやネットワーク	¥98,793	ペット同行避難訓練	ペットと暮らす人、地域の防災担当者の方への動物同伴避難訓練等	18名
一般社団法人イヴの木	¥93,534	世田谷のまちとペットと防災フォーラム	ペットと防災に関する講習会、ワークショップ、ブース出展	36名
一般社団法人北沢おせっかいクラブ	¥141,040	犬用防災バッグをつくって災害について考えよう	発災時に犬猫の飼い主がどのような備えが必要かを学ぶ講演、犬猫のための防災バッグ作りの講座	8組
補助金交付額合計	¥695,612			

【各委員からの意見】

- ・ペット防災関係の講座が多い。防災講座の内容が正しいのか疑問である。在宅避難に備えて備蓄をするだけでは、ペット防災対策としては不十分である。
- ・咬傷事故などもあるので、犬の飼い方の講習会などがあれば良い。
- ・参加人数が全体的に少ない。

3 ふるさと納税寄付金活用事業の補助金額について

令和5年度は12,833,500円、令和6年度は17,266,580円のふるさと納税寄付金が寄せられ、令和6年4月から事業の補助金額1/2に寄付金を活用している。令和7年度以降寄付金目標額1,000万円である。令和6年度のふるさと納税寄付金活用事業の補助金額は下記表の通りである。

【ふるさと納税寄附金活用事業の補助金額】

令和6年4月から事業の補助金額1/2に寄付金を活用、令和7年度以降寄付金目標額1,000万円

	令和5年度 (実績)	令和6年度 (実績)	令和7年度 (予定)	令和8年度 (予定)	
寄附金 年度ごと（実績または所管課としての目標額）	¥12,833,500	¥17,266,580	¥10,000,000	¥10,000,000	
寄附金 累計	¥12,833,500	¥30,100,080	¥40,100,080	¥50,100,080	
飼い主のいない猫手術補助金 オス1匹10,000円、メス1匹20,000円補助		¥3,145,300			以降の年度は 活用事業の実 績状況 を見て事業の 追加（ペット 防災、緊急保 護等）を検討
新たな飼い主への引渡し補助金 オス1匹上限20,000円、メス1匹上限30,000円		¥421,000			
人と動物との共生推進事業補助金 （多頭飼育崩壊等ペットを飼育できない状況など）		¥202,218			
【令和6年10月から事業開始】 せたがや動物とともに生きるまちづくり補助金 （講習会・学習会等補助） 上限150,000円×6団体（令和6年度） 上限250,000円×6団体（令和7年度以降）		¥695,612	¥1,500,000		
【検討中 令和8年度開始事業】 地域ねこ活動補助 上限1,000,000円×5団体				¥5,000,000	
寄附金活用事業補助金 合計		¥4,464,130			
歳出への寄付金充当金額 年度ごと	¥0	¥2,232,065			
寄附金残	¥12,833,500	¥27,868,015			

【各委員からの意見】

- ・事業の補助金額 1/2 に寄付金を活用しているが、この割合は妥当なのかは今後検討の必要がある。
- ・補助金を使用して地域猫の問題などを解決した場合、ホームページ等で周知したほうが良い。
- ・ふるさと納税を地域猫の問題に使用していることを周知するとともに、活用実績も周知すべきである。
- ・動物関係の活動に寄付をしたいと考えている人は多いはずである。
- ・SFTS に感染した猫の治療は高額になる。善意で地域ねこを動物病院に連れてきた人の負担を減らすために、地域猫が具合悪くなった時の治療代にふるさと納税を活用することを検討してもよいと考える。

4 令和7年度「せたがや動物とともにいきるまちづくり補助金（講習会・学習会等）」申請状況について

1 団体当たり上限 250,000 円に増額して令和7年4月から5月に募集した。申請状況は下記の通りである。

団体名	補助金 申請額	事業名称	活動内容
代田自治会	¥245,700	ペットの在宅避難	ペットの在宅避難についての学習会 10月～11月の土曜日午後に1回開催 予定（さくら花見堂会議室）
一般社団法人 パウリブプラス	¥220,000	ペット防災をプロと一緒に学ぼう	防災対策の必要性についての講義・ 対談、ドッグトレーナーによる「防 災のための犬のしつけ体験」、 模擬被災地体験、参加者全員による ディスカッション 11月開催予定（第1回下北沢ポーナ ストラック、第2回砵 EASE）
一般社団法人 One for Wan・ 駒沢ドッグストリー トプロジェクト	¥250,000	犬の社会化～愛 犬と学ぶ飼い主 さん講座	様々な環境（公園、河原、まち）、 様々な刺激（音、人、犬）に慣れる 体験を開催。社会生活のルール （リードの持ち方、挨拶、すれ違 い、散歩）、必要なしつけトレーニ ングを開催。 （1）講座（駒沢大学駅前国道246号 線・自由通り交差点の商業施設） ①9月7日講座「犬の社会化と は？」 ②12月3日講座「犬の社会化 実 例」 （2）実習（犬同伴）①10月19日 ②1月18日③2月15日 ①玉川野毛町公園（申請予定）②、 ③駒沢オリンピック公園（申請予 定）
船橋会	¥173,000	地域猫活動とペ ット防災の勉強 会	2月8日「地域猫活動とペット防災に ついて」の勉強会（千歳船橋商店街 会館会議室）

一般社団法人きょう どうみんなの文化教室	¥158,120	地域の保護猫活動の談話と、情報交換による共生社会の促進	9月28日地域の保護猫活動の談話と、情報交換を開催（経堂アトリエ） 外猫の保護方法や課題について、捕獲機の実演を交えて話をする。猫用防災頭巾袋を作成しながら参加者同士が交流し、飼育環境についての情報交換
ペット防災せたがやネットワーク	¥192,000	防災力のある地域づくりのためのネットワーク	猫のための防災講座、ペット同行避難訓練 10月25日、1月31日猫のための防災講座（国際動物専門学校） 3月1日 ペット同行避難訓練（国際動物専門学校）
as is to be	¥173,000	アズイズトゥービーアートアンドドッグカフェ	8月～9月に1回開催予定、防災バッグや情報カードを使った避難訓練（as is to be Art and Dog cafe）
一般社団法人イヴの木	¥203,950	世田谷のまちとペットと防災～まち歩き&フォーラム～	(1) 11月23日世田谷のまちとペットと防災まち歩き（世田谷区内） ペットを連れているときに地震が発生しても落ち着いて行動できるよう、散歩しながら安全な場所・危険な場所を確認し記録撮影する、まち歩きイベント (2) 3月1日世田谷のまちとペットと防災フォーラム（うめとぴあ） ペットだけではなく、ペットとともに生きる区民のための防災フォーラム 獣医師・ペット防災に取り組む団体・防災士の講演会とパネルディスカッション、ワークショップ
補助金申請額合計	¥1,615,770		

【各委員からの意見】

- ・補助金を使用した団体の成果や効果を審査したうえで、アドバイスが必要である。
- ・上限25万円は妥当なのか疑問
- ・令和7年度の申請団体のうち4団体が令和6年度の交付団体である。継続する団体は、よりシビアに審査をしなければならない。
- ・活動のレポートが必要である。
- ・審査を公務員だけで行うのだけでなく、異なる職種の方も含めて審査すると審査の精度があがるかもしれない。
- ・活動予定回数が少ない団体がある。
- ・ペット防災関係の講演をやる団体が多いが、区のペット防災についての方針を各団体に周知する必要がある。
- ・令和8年度の予算を検討する際、交付団体数を増やすことは想定しているか。
- ・年度末に活動予定の団体が多く、活動予定時期が偏っている。

協議事項

ふるさと納税寄付金活用事業「地域ねこ活動補助」新設について

せたがや動物とともにいきるまちづくり補助金による「地域ねこ活動」への補助について、「世田谷区人と動物との調和のとれた共生に関する条例」の基本理念を踏まえた「人と動物との共生推進プラン（第2次）」で掲げる4つの目標の1つである「飼い主のいない猫対策の推進」に資する制度を構築する。制度（案）は下記の通りである。

「地域ねこ活動」への補助（案）

補助金名称	（仮称）せたがや動物とともにいきるまちづくり補助金 （「地域ねこ活動」補助）
募集時期	令和8年4月1日（水）～5月29日（金）
対象	世田谷区内で「地域ねこ活動」の取組みを行っている <u>地域</u> に補助する。
対象経費	①不妊・去勢手術費用 ②医療的処置費用 （混合ワクチン接種費用、寄生虫駆除費用、猫エイズウイルス感染症・猫白血病ウイルス感染症検査費用） ③「地域ねこ活動」の普及啓発に関する印刷費用（チラシ・ポスター等） ④猫の捕獲機購入費用 ⑤猫の忌避剤購入費用
補助金額	1地域あたり上限100万円 5地域
取り組む事項	① 地域住民・ボランティア・行政の三者で協働して「地域ねこ活動」の取組みを行うこと。 ② 地域活動の情報周知、情報収集 地域に根付き、持続性のある活動にしていくことを目指し、地域のコミュニティ（町会、自治会、集合住宅管理組合、商店街組合等）と「地域ねこ活動」について、連絡・連携することを必須条件とする。 地域住民、地域コミュニティ、動物連絡員等と連携し、地域活動の情報周知、情報収集を行うこと。

※1 本補助金で不妊・去勢手術等を行った猫は、他の補助金の併用を認めない。

※2 3年間まで連続給付可とする。

※3 補助対象地域に、「地域ねこ活動中」だと分かる物品（エコバック）を配布する。

【各委員からの意見】

- ・連続給付可能期間は3年間だが、3年後急に給付が途切れると活動は継続できるのか。
- ・地域のコミュニティ（町会、自治会、集合住宅管理組合、商店街組合等）と「地域ねこ活動」について、連絡・連携することを必須条件としているが、連携することは結構難しいと思う。
- ・ボランティアだけで地域ねこ活動をするのではなく、地域のコミュニティと連携して「地域ねこ活動」をしないと、持続しない。連携は重要である。
- ・すでに「地域ねこ活動」を実施し、必要な金額を把握している団体に、この補助金は交付すべきである。

- ・1 地域あたり上限 100 万円の補助金が交付されるが、この補助金が交付されるまでの間の費用は活動する人達が立て替える必要が出てしまう。大きな金額なので、立て替えずに済むと良い。